

令和7年度 第3回四條畷市立図書館協議会会議録

1 日時 令和7年10月8日（水曜日） 午後3時30分から4時47分

2 場所 市民総合センター2階 図書館集会室

3 出席

(1) 図書館協議会委員

○出席委員

大庭 つばら委員 尾崎 安啓委員 川地 秀治委員 金城 優子委員

林 美香委員 広谷 光輝委員 福井 多恵子委員 藤井 啓子委員

○欠席委員

小林 初根委員 高垣 聡美委員

※「四條畷市立図書館協議会運営規則 第6条」により、出席者が定数の過半数に達しているため協議会は成立

(2) 四條畷市教育委員会事務局

田中図書館長 福井田原図書館分館長 中崎四條畷図書館職員

4 議題 次のとおり

(1) ワークショップ参加の報告について

(2) 令和6年度主な図書館事業の実績について

(3) その他について

5 本日の議事次第記録者 次のとおり

中崎四條畷図書館職員

6 開会

田中館長

定刻になりましたので、ただいまより、令和7年度第3回四條畷市立図書館協議会を開催したいと思います。本日は、お忙しい中、ご出席いただき有難うございます。

開始前に、事務局出席職員の紹介と本日使用します資料の確認をさせていただきます。

(以下、職員紹介)

続いて、本日使用いたします資料の確認をお願いいたします。

事前にお配りしております、令和6年度の主な図書館事業の実績でございます。

以上でございますが、皆さま、全ておそろいでしょうか。よろしければ、以上の資料に沿って議題を進めさせていただきます。

それでは、この後の議事の進行は、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

福井会長

第3回の協議会になります。四條畷市もいろいろな課題を抱えておりますので、皆さんのお知恵をお借りしないといけないことも多々ございます。ご協力のほど、どうぞお願いいたします。それでは、会議の方に入ります。会議の成立状況について、事務局の方からお願いします。

田中館長

高垣委員のほか、所用のため欠席との連絡をいただいている委員様がおられますが、委員定数の過半数の出席をいただいておりますので、四條畷市立図書館協議会運営規則第6条の規定により、本日の協議会は成立することをご報告いたします。

福井会長

続きまして、四條畷市立図書館協議会会議の傍聴及び会議録要領の第9条の規定により、会議録を作成する必要がありますので、同条第2項に基づき、会議録に署名いただく委員を指名いたします。本日の会議録署名者は、川地委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

川地委員

はい。

7 議事の要旨

福井会長

それでは、議題に入ります。議題1 ワークショップ参加の報告について、事務局から説明をお願いします。

田中館長

ワークショップについては、地区推薦、団体推薦、公募により計18名の参加者があり、基本計画策定支援事業者に支援いただきながら7月30日から9月6日にかけて全4回実施されました。当協議会からは、1回めと3回めに福井会長、2回めと4回めに林委員にご参加いただきました。

ワークショップでは、第1回から第3回にかけて、複合化する施設に期待する機能やつながり、懸念点等について議論し、最終回の第4回ではWSで出た新しく期待する部屋の配置の検討や、1階部分にどの施設を配置するかの人気投票が行われました。

1回めは、参加者それぞれが仮想人物になりきり、具体的な利用シーンをイメージしながら必要な設備や機能を提案しあいました。例えば、子育て中のお父さんという仮想人物であれば、「子どもと遊べるスペース」、「また図書館内に靴を脱いで上がれるスペース」が必要などです。

2回めは、公民館、市民ホール、図書館に加え、こども園が複合化された場合、期待すること・心配なことを考えました。また、廊下やロビーエントランスなどの共有部分の空き空間で出来そうなことを考えました。

3回めは、複合化の4施設それぞれの立場から、他の施設とどのような連携が出来るかを考えました。

4回めは、新たに期待する部屋がどの施設、あるいは共用部分にあれば良いかを考えました。

各回で出たキーワードや意見は表の右側2列に記載のとおりです。図書館に関係するものとしては、2回めで、こども園が併設されることにより、子どもの学びや、子どもの図書館利用に期待する声がありました。また、3回めで、こども園や公民館の講座やサークルへの本の貸出に期待、また図書館の本を活用して料理教室やしおり制作講座ができるのではないかなどの意見がありました。また、4回めでは、新たに期待する部屋などの配置で、カフェ、キッズトイレ、ワークスペースを図書館にという声がありました。

また、3回めには、各施設の関連団体からの出席者のスピーチの場が設けられました。当協議会からの出席者である福井会長にもスピーチいただき、その要約を表の下部分に記載しています。

当協議会から参加いただいたお二人以外の参加者からは、あまり図書館に関するキーワードや意見が出ていなかった印象があります。ですので、この会長のスピーチは効果的であったのではないかと考えています。

以上のワークショップを受け、担当業者がプランを作成していると聞いております。早ければ次回の協議会で紹介させていただけるかと思っております。ワークショップの内容については以上です。ご参加いただきました会長、また林委員から、感想や印象などをお

話しただければと思いますが、よろしいでしょうか。

福井会長

このようなワークショップは初めての経験だったんですが、市民の各世代から希望者を募られて、そして推薦など、いろんな方がおられて非常に良かったと思います。思いもかけないような意見が出るんですが、よく話を聞いてみるとそういうことも必要なのかと、自分は気が付かなかったけれどなるほどと思うような意見もたくさんありました。ワークショップへ向けてこの協議会でも皆さんから意見を頂戴しましたが、同じようなことを他の市民の方々も考えておられると思う意見もありました。また、子育て世代の方たちがこれから育てていくうえで、どんなふうに子どもたちに有用な施設を提供できるかということ、すごく真剣に考えておられるということを感じました。主催は市ですが、コーディネートする業者の方もさすがプロで、うまく導いていろんな意見を出せるような雰囲気にしてくださって、最後のまとめも我々がどのようにまとめればよいかわからないところもうまくやっていただきました。先ほど館長から話がありましたように、ワークショップの意見を基にまとめられて、良いものが出来ているのではないかという印象を持ちました。以上です。

林委員

2回参加させていただきまして、皆さんの期待を背負って参加したつもりではあったんですが、まったくそういうことをしゃべるきっかけがなく、どうやって図書館のことを話そうかと考えながら2回を過ごしました。いろいろな資料をたくさん作ってくださるんですが、この施設をどのように連携して活用したいかということを中心に考えるようなワークショップだったかと思います。図書館をこのようにしたいということではなく、複合施設なので、こども園と図書館をどのように連携して活用したらよいか、こういう使い方ができるのではないかということを考えましょうという会だったと思います。

また、4回めはこういうふうに使いたいんだったら、何をどこに配置すればよいかという話を中心でした。皆さん図書館はとても必要で市民が多く活用するところだという共通認識は持っていらっしやって、図書館があればみんなが来るというのは強く感じていらっしやるのを感じられて安心しました。また、子育て世代の方が、四條畷の歴史や自然をよりよく知って、四條畷のことを好きになるような仕掛けを図書館に作ってほしいという期待を寄せられて、飯盛山が見えるようなテラスで本を読みたいなどの夢を語

っておられたり、すごく楽しい思っていなかったアイデアが出るようなワークショップでした。

どのような感じになるかわからない感じだったんですが、四條畷を良くしようと思って参加されている方ばかりでしたので、良い意見が聞けたと思いました。有難うございました。

福井会長

どの回にも出た意見としましては、今のこの図書館に皆さんたくさん来られていますけど交流がない。せっかく複合施設になるのであれば、交流の場が作れないか。そうなれば、お茶でも飲みながら雑談ということになるので、共有スペースでそのようなことができないかというような意見もありました。

また、こども園が入ることによって、世代間の交流、たとえば高齢者が子どもの姿をみかけることによって元気がもらえるでしょうし、それから地域間の交流も生まれるように、このような機会に是非とも作っていただきたいということは、どの回でも出ていたように思います。

質問などございますか。やはり、行政サイドだけではなく市民の意見を聞いていただくというのは、大事だと思いましたね。実現されるかどうかは別としまして、自分たちが住んでいる地域に愛着がもてるようになりますし、新たな発見もありますのでね。

田中館長

補足ですが、4回めのワークショップで1階にどの施設を配置するのが良いかという投票が行われました。その投票結果ですが、投票数13人で、市民ホールは3人、公民館が5人、図書館1人、公民館・図書館の複合が4人となりました。これらの意見を総合すると、市民ホールは2階以上が良いと考えておられる方が多かったのかなということになります。

ちなみに、センターは4階建てになる予定です。そのなかで、市民ホールは高さが必要になりますので、3階分を要する設計になります。現在もそのようになっております。

したがって、4階建てにする場合、市民ホールは1から3階、あるいは2から4階の2パターンしか配置できず、公民館と図書館の配置は、市民ホールが1から3階の場合は、2から4階分を、市民ホールが2から4階の場合は、1階と3階と4階という形になってしまうということです。このことを踏まえた投票になっておったかと思います。

それぞれの立場で、たとえば1階は市民ホールが良いという意見のなかには、市民ホ

ールにはたくさんの方が来場されるので、災害などが起こった時の避難を考えると対応しやすいのではないかと。また、賑わい創出を重視される方でしたら、1階は公民館、あるいは図書館が良いのではないかとこの意見がありました。

現在は1階が市民ホールですが、ホールが使用されていない日ですと1階のロビーが寂しい感じを受ける時があります。1階に常に利用される公民館、または図書館が配置されれば賑わっている雰囲気になるのではないかとこの意見をお持ちの方が多いのだろうという印象を受けました。

福井会長

不特定多数の方が利用されるので、不審者の問題がありますね。こども園が併設されることになれば、より難しくなる。交流を深めるということであれば、図書を持ち出すということも考えないといけないですね。図書館内に限るのか、それとも飯盛山が見える場所までもっていても良いようにするのか。これから貸出などのルールも考えていかないといけないかなと思いました。

川地委員

意見で書かせてもらいましたが、学校の教員という立ち位置からですが、最近に見た図書館で感銘を受けましたのが、大阪教育大学の附属図書館です。2年前ぐらいに立て直しされて、非常に大きい図書館です。図書館の中が二つに分けられていまして、一方は静かに本を読むスペースで、もう一方は、模擬授業ができたり、グループワークができたり、話ができるスペースです。同じ図書館の中に、話ができ交流できるスペースと静かに自習したり本を読んだりするスペースがあるという、このような形が近年求められている図書館だろうという観点で作られているというように思いました。

スマートフォンやインターネットなどで静かに調べるというのは自宅でできるので、人が集うことができるコミュニケーションの場としての機能を含んだ図書館、また郊外なので自然が豊かで、先ほど飯盛山が見えるテラスというお話がありましたが、風景がきれいに見えて、また飲み物も飲める場所もあるという、このような図書館が最近では求められているのかな、良いなと思っていたところ、本日そのような意見がワークショップであったというのを聞きまして、やはり最近ではコミュニティの場というのが求められている、静粛性のみではなく、交流の場というのが求められているということであれば、そうした二つのエリアがうまく融合されている大阪教育大附属図書館は参考になるのではないかと、一つのモデルではないかと思いました。

田中館長

ご報告、有難うございます。大阪教育大学の付属図書館の例をあげていただきましたが、さすがだと思いました。と言いますのは、大阪教育大学は、図書館学を勉強したことのある者であれば誰でも知っているような有名な先生がいらっしやった大学でして、そうした知見を生かして作られたんだろうと思いました。静肅性の求められる読書スペースと、コミュニケーションができるスペースということで、大変参考になりますので、私たちが出席する部会の方でも意見として出していきたいと思います。

福井会長

お願いします。他にはございませんか。お気づきの点がありましたら、またお願いします。では次に、議題2 令和6年度主な図書館事業の実績について、事務局から説明をお願いします。

田中館長

はい、議題2について、事前にお配りしております、令和6年度の主な図書館事業の実績をご覧ください。

まず、1の図書館資料について、(1) 図書の、①蔵書冊数は、計259,635冊で、昨年度より約7,000冊の減少となっています。この蔵書数は、北河内地区他市と比較しますと、絶対数では多いとは言えませんが、人口で割った1人あたりの冊数にしますと、多い方の値になります。

続いて、2利用状況について、(1) 個人貸出は、①利用のべ人数2,200人ほど、また②貸出冊数の合計が約12,000冊、ともに減少となりました。

減少の要因としては、昨年度は図書館システムの大幅な入替えのため13日間、休館したのが大きかったと考えております。

次に2ページに移り、(2) 登録者数の、①有効登録者数は、年度内に1回以上利用した人の数ですが、昨年から約100人の減少です。

次の3ページの③市内年齢者階層別有効登録率と1人当たり利用回数をご覧ください。登録率、リピート回数とも昨年とほぼ同じですが、個別に見ますと、23～30歳世代のリピート回数が少し増加しています。乳幼児の保護者世代ですので、乳幼児サービスに注力していることの現れかと推察しています。

続いて、3その他の利用では、(1) 団体貸出は、合計値では昨年度よりも大幅に減少しています。学校図書室の方の蔵書冊数が着実に充実している結果かと推察しています。

(2) 予約件数は、合計値では昨年とほぼ同数ですが、予約場所別で見ますと窓口での申し込みが少し減少し、その分インターネットでの予約が増加の傾向にあります。

次の4ページの(4)北河内7市図書館相互利用では、有効登録者数が、3割ほど増加しています。

続いて、4行事ですが四條畷図書館では、大人向け行事として、「ギターデュオ・歌・紙芝居」を実施しました。参加は13人でしたが、懐かしの昭和ソングや四條畷の民話などの紙芝居を楽しんでいただき、好評をいただきました。

(4) どくしょのあきこどもスタンプラリーは、毎年恒例のイベントですが、昨年は、一昨年に続いて延べ1,000人を超える子どもたちに参加いただきました。

続いて、5その他の取組みですが、(5)館内展示では、昨年度に続き、他部署、また外部機関とのコラボ展示を行いました。「認知症ってなんだろう」が、高齢福祉課のアルツハイマー予防の取組みとして、総合センターで講演会やパネル展示を開催するに際してのコラボで、「税を考える週間」が、府税事務所の取組みとのコラボで、税に関する本の展示のほか、参加景品付きの税金クイズもお楽しみいただきました。

(6) 臨時事業ですが、子ども読書活動推進計画の第4次が昨年4月から計画期間がスタートしたことにあわせ、記念行事を開催しました。まず、紙芝居師を招いて、特別制作いただいた楠木正行の生涯を公演いただきました。また、大人向けにファンタジーの魅力を伝える講演を、奈良で私設の図書館を運営されている青木海青子さんをお願いしました。また、「絵本の世界へようこそ」は、例年スタンプラリーに合わせておはなしコンサートをやっていたアサクルのお二人に、保護者向けに読み聞かせの魅力を伝える内容でおはなしコンサートの特別版としてご公演いただきました。どの行事も多く参加をいただき、好評でした。

続いて、6学校図書館支援について、令和2年度以降、小中全9校の図書室に支援員を派遣しておりますが、令和6年度も引き続き全校支援を実施いたしました。

最後に、7ビブリオバトル市内子ども大会inなわての開催について、コロナ禍以降、中止が続いているビブリオバトル大会ですが、前回の協議会でお伝えしましたとおり、今年度から読書活動推進行事として「図書館まるごと体験会」に変更開催しております。のちほど開催報告をさせていただきます。

最後の写真は、臨時事業の3行事と、大人向けに実施したギターデュオの様子です。以上です。

福井会長

今、事務局から、議題2について説明がありましたが、何か、ご質問などありますか。いろいろと取り組んでいただいているので、もっとPRしたら良いのかなと思いますね。それから、ビブリオバトルはいままでの形式ではなく体験会ということで、違うものをされたということですね。

田中館長

6年度は開催形態の検討ということで中止させていただきましたが、今年度から図書館まるごと体験会という形で開催いたしました。そのなかで、本を紹介しあう機会も行事体験ということでメニューに入れさせていただきました。本を紹介しあうのは楽しいことであると思ってもらえればという狙いです。

福井会長

学校にもこの行事は案内してもらっているんですね。

田中館長

子ども向けの行事に関しては、お配りしている資料のなかにありますムクムクという子ども向け図書館だよりを全小学校に配布させてもらっています。ですので、子ども向け行事は比較的よく参加してもらっているのですが、一方で大人向け行事に関しては、図書館へ来る人以外にはなかなか届けきるのが難しいと感じています。

例えばギターデュオなども、参加いただいた方はかなり盛り上がり満足頂いたので、もっと参加いただければと思ったのですが、なかなか難しさを感じています。

福井会長

他にございませんか。では、議題3その他について、事務局からなにかありますか。

田中館長

はい。3点ございます。

① 次回の開催について（要約）

10月下旬開催予定。（議題：令和7年度予算編成について）

本日説明いたしました実績等を参考にいただき、ご意見をいただきますようお願いいたします。

本日お持ちいただきましたご予約を集約させていただきました。日時が決まり次第、ご連絡いたします。

② 図書館まるごと体験会の開催報告について

ビブリオバトル大会に代わる読書活動推進行事として、この夏休みに開催する旨を前回の協議会で報告させていただきました。予定どおり、7月24日と8月21日の2日にわたり開催いたしました。申込人数が51人で、抽選で決定した9人の参加者全員が2日とも参加してくれました。

窓口業務のほか、発注や除籍、本の受け入れ作業などの本の管理の仕事のほか、おすすめ本コーナーの作成や、本を紹介しあう行事体験、そしてミーティング体験など、文字どおりまるごと体験してもらいました。

参加者の声ですが、「ふだんできないことが体験できてよかった」「仕事が窓口以外にもたくさんあって、驚いたし楽しかった」「見られないところが見られてよかった」などの感想が多く、図書館の裏側が見られて楽しんでもらえたようでした。

ミーティング体験では、「図書館にやってほしいこと」、「こんな図書館になれば良いなと思うこと」を発表してもらいました。それぞれの要望を、本日机上配布しておりますA4用紙1枚物の資料にまとめておりますので、ごらんください。小学生たちの要望ですので、夢のようなものが出てくるかと思いましたが、以外に現実的なものが多く、取り入れられそうなものは実現に努めてまいりたいと思っております。

また、体験を踏まえて、図書館のおすすめどころを「図書館のここがすごい！」と題して、書いてもらいました。用紙裏側にまとめておりますのでご覧ください。こちらは、それぞれ、目線が違っており、興味深いものとなっていて貴重な推薦文だと思いましたが、現在ホームページで紹介させていただいております。以上です。

③ 行事案内：「スタンプラリー」、「本の森コンサート」の開催予定について（省略）

福井会長

事務局からその他について説明いただきました。何か質問などありますか。

林委員

本でしりとりというのは、新しい企画ですか。面白そうだとおもいました。

田中館長

担当者から聞いておりますのは、本のタイトルでしりとりをするもので、書架から何冊か見つけてきてもらって、うまくつながっていればスタンプを押させてもらうという企画です。

藤井委員

四條畷の市民でなくても参加できるんですか。

田中館長

はい、特に制限はしておりません。

林委員

先ほど会長も仰っていたようにいろいろとイベントをやっていたいて、参加が千人以上のももあるのですが、その盛り上がりがなかなか伝わりにくく、図書館のチラシはお行儀よくできているといたしますか、大人のイベントも良いものをしているのに参加が少ないということで、口コミで広がるのも難しいと思うので、何か工夫ができるの良いのではと思います。

田中館長

今いただきましたご意見は、私たちもずっと思っていることでして、確かにスタンプラリーなどはすごく参加いただいています、他の行事に関しては公務員であるという殻を破って、もっとよいフレーズを使ってPRしていきたいと思い始めているところです。

藤井委員

わたくし、ギターデュオに参加しましたが、楽しかったです。奈良から来られた方で、手作りの紙芝居とギターのデュオで良かったです。

金城委員

スタンプラリーの参加団体ですが、12団体とありますがどのような団体ですか。

田中館長

いろいろな施設でイベントをやりますので、おはなし会や人形劇など、お配りしているチラシに書かれている行事を担当いただいている施設やボランティア団体の数をカウントしたものです。

尾崎委員

資料1ですが、様子がよくわかって良いと思いました。そのなかで、2ページめの町別の登録者数ですが、四條畷図書館や田原図書館に近いところは登録者が多くなるというのは自然なんです、一方で3ページめの年齢階層別有効登録率ですが、意外だったのが51から60歳のところで、実は他の図書館では40代、50代は利用が多いんです。私は図書館に勤める前は、高齢者の登録率が高いものだと思っていたんですが、実際は貸出数で見ると40代、50代が多かったんです。一時的かもしれないですが、四條畷は50代が少ない。理由を追及しても分からないと思うんですが、その点が気に

なりました。

40代、50代はすごく仕事をされている世代なので、時間を見つけて来られる方が多いので、そういう方があまり登録してもらっていないのであれば、お休みの日にイベントがないかとか、仕事をされている方が来やすい仕掛けが必要なのかなとこの数字を見て思いました。2つ図書館があるので、働いている世代の人に使ってもらえるようにできないかなと思います。例えばホームページの活用など、働いている時間帯でも届くようなPRの仕方などですね。図書館はどこでもチラシは結構設置するんですが、来る人でないと見られないので、SNSなども使えるでしょうし、工夫されたらと思います。

一番税金を支払ってくださっているであろう世代にサービスが届いていないのは寂しいので、この世代の人が行ってみようかなとなるような、たとえば先ほどのコンサートなどをうまく活用すれば、認知してもらえるかと思うので工夫してみたいと思います。

田中館長

貴重なご指摘を有難うございます。50代は他の世代と比べると人口は多くなっています。人口が多い分、有効登録率となると他の世代より低めに出してしまうのかなと思っています。また、利用の絶対数でも40代よりも少なくなっていますが、リピート回数を見ますと、他の世代よりも高くなっており、読書好きの方は一定数おられるのだろうと思われるので、しっかりと情報を届けきるように工夫していきたいと思います。

福井分館長

田原図書館の方ですが、昨年度は東吉野の方で私設の図書館をやっておられる青木海青子さんに講座をやっていただきました。働き世代の方も来られていましたので、もう少し掘り下げて検証して、来ていただけるように工夫していきたいと思います。

林委員

ラインがどのように活用されているのか、世代別の登録率などわかればお願いします。

田中館長

ラインをどのように使っているかは確認する術はないんですが、ライン画面に表示できる図書館カードのバーコード表示は、窓口で対応する印象では徐々に増えてきているように思います。ラインサービスの利用にあたっては、まず図書館の友達登録をしていただくのですが、その数も増えてきています。8月に広報で図書館の特集をしていただきましたが、ラインサービスのことも掲載頂いたので、少しずつ広まってきてい

るものと思っています。

林委員

利用していて感想ですが、借りる時はバーコード表示が使えて便利なのですが、いくつかメニューがあるうちの一つを押すと市の画面に行くんですね。図書館案内というところがあって押すと、行事等情報というのがあってさらに押すと、図書館の住所などが載っているだけなんですね。

田中館長

画面の下の方の新着を見ていただくといろいろと行事が見られるようになっていきます。スマートフォンだと画面を下げないと見えないという見づらさがあると思って課題だと思っているところです。

尾崎委員

いまのスマートフォンでのサービスの使い方もそうですが、さきほどのコンサートなども、当日来られない人も動画でホームページに上げたら見る人がいると思います。そうすると1回でたくさんの人に見てもらえて、四條畷の図書館はこんなことをやっているんだというのが頭の中に残るので、すごく宣伝になると思います。ただし、動画の場合、著作権が問題になることがあるので注意が必要です。

金城委員

写真だけアップするのはどうですか。

尾崎委員

写真は大丈夫です。

金城委員

当日の様子だけでもということであればできそうですね。

田中館長

行事の様子をお知らせするというのは難しくないですし、どんな行事をやっているかを知っていただくのは効果があると思いますので、工夫していきたいと思います。

福井会長

障がい者の方へ向けてのことにに関して何かありませんか。以前、本を届けるサービスのことを仰っていましたが。

田中館長

自力で来館できない方への配達サービスですね。昨年の6月から開始しまして、6年度は2名だけの登録でしたが、先ほど申し上げた広報8月号に掲載してもらいましたところ、その記事を見たという方を含めて3名増えまして、現在5名に登録いただいています。

福井会長

この資料にも載せていただければと思います。四條畷の図書館は他の市ではあまりやっていないことも率先してやっけていただいているので、もっとPRしてもらったと思います。

他にございませんか。無いようでしたら、これをもちまして、令和7年度第3回図書館協議会を閉会いたします。有難うございました。

上記議事録の顛末を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 8年 3月 6日

四條畷市立図書館協議会会長 福井 多恵子

同 委員 川地 秀治